

研究区分	教員特別研究推進 教育推進
------	---------------

研究テーマ	静岡県のニーズにあった人材育成の確立を目指した異分野融合教育プログラムの開発					
研究組織	代表者	所属・職名	薬学部・教授		氏名	森本 達也
	所属・職名	氏名	所属・職名	氏名	所属・職名	氏名
	食品栄養科学部・特任教授	合田 敏尚	薬学部・教授	賀川 義之	静岡県立病院機構・理事長	田中 一成
	食品栄養科学部・教授	三浦 進司	薬学部・教授	眞鍋 敬	県立総合病院・院長	小西 靖彦
	食品栄養科学部・教授	新井 英一	薬学部・教授	黒川 洵子	県立総合病院・副院長	菅原 照
	食品栄養科学部・教授	市川 陽子	薬学部・教授	内田 信也	県立総合病院・副院長	吉村 耕治
	食品栄養科学部・助教	大槻 尚子	薬学部・特任教授	森 潔	県立総合病院・副院長	大場 範行
	食品栄養科学部・助教	川上 由香	薬学部・准教授	宮崎 靖則	県立総合病院・看護部長	小杉 一江
	看護学部・教授	富安 眞理	薬学部・准教授	井上 和幸	県立総合病院・看護師・救急救命士	長島 尚子
	看護学部・教授	畑中 純子	薬学部・准教授	坂本 多穂	静岡済生会総合病院・院長	岡本 好史
	看護学部・教授	井上 健一郎	薬学部・准教授	柏倉 康治	静岡リハビリテーション病院・名誉院長	神原 啓文
	看護学部・准教授	杉山 眞澄	薬学部・講師	辻 大樹	静岡リハビリテーション病院・院長	高木 正和
	看護学部・講師	濱井 妙子	薬学部・講師	黒羽子 孝太	静岡リハビリテーション病院・言語聴覚士	大野 直也
	看護学部・講師	根岸 まゆみ	薬学部・講師	南 彰	静岡県健康福祉部・部長	八木 敏裕
	看護学部・助教	三崎 健太郎	薬学部・講師	伊藤 由彦	静岡県健康福祉部地域医療課・部長	吉永 幸生
	看護学部・助教	膽畑 敦子	薬学部・講師	刀坂 泰史	静岡市地域包括ケア推進本部・次長	村松 正博
	看護学部・助教	榊 みのり	薬学部・講師	砂川 陽一	静岡県看護協会・会長	渡邊 昌子
	看護学部・助教	ハムストクケンヂ	薬学部・助教	鈴木 美希	静岡県薬剤師会・会長	石川 幸伸
	国際関係学部・教授	高畑 幸	薬学部・助教	谷澤 康玄	静岡県医師会・会長	紀平 幸一
	経営情報学部・教授	湯瀬 裕昭	薬学部・助教	清水 聡史	静岡大学教育学部・教授	小林 朋子
	経営情報学部・教授	東野 定律	薬学部・助教	浜辺 俊秀	静岡県地震防災センター・所長	金嶋 千明
	経営情報学部・講師	木村 綾	京都大学医学部・特任教授	高橋 裕子	静岡県介護福祉士会・会長	水野 公智
	グローバル地域センター・特任教授	楠城 一嘉	大阪商業大学・教授	東山 明子	静岡済生会総合病院・医療相談室長	岩崎 圭介
	短期大学部・准教授	野口 有紀	静岡市総務局職員厚生課・産業係	加治 正行	清水福祉事務所高齢介護課・主幹	岩崎 真理
	短期大学部・准教授	江原 勝幸	静岡市消防局・消防次長	原田 利晴	静岡県教育委員会・元教育長	木苗 直秀
	発表者	所属・職名	薬学部・教授		氏名	森本 達也

講演題目
静岡県のニーズにあった人材育成の確立を目指した異分野融合教育プログラムの開発
研究の目的、成果及び今後の展望
<p>多職種連携や多職種協働を目的とした教育カリキュラムの構築を行うことである。これにより、地域住民の健康と安全確保に役立つリーダーシップを持った医療専門職を養成することになり、さらには卒前教育にとどまらず、卒業後教育、生涯教育につながる事が期待される。</p> <p>①多職種連携や多職種協働を目的とした教育カリキュラムの構築 演習内容を充実させ、多職種連携の理解を深めるために、カリキュラムを発展させた。</p> <p>②救命救急に対応できる人材育成プログラムの開発 アメリカ心臓協会（AHA）認定の「AHA-BLSヘルスケアプロバイダーコース」「ハートセイバーコース」を開講し、世界に通用する医療者レベルの心肺蘇生技術の認定資格を取得する学生数を増やし、現場で役立つ医療人を育成した。さらに、静岡市の中高生、老人施設等の職員を対象とした「AED講習会」コースの開講数を増やし、指導技術の研鑽と蓄積を行うだけでなく、地域住民への普及を行った。</p> <p>③災害に対する知識と技能を高める活動をサポートする教育システムの確立 住民を対象とした学生主体の「HUG講習会」を開講し、指導技術の研鑽と蓄積を行った。</p> <p>④受動喫煙の無い生活環境意識を高める活動をサポートする教育プログラムの開発</p> <p>⑤住民の健康を啓発する活動をサポートする教育プログラムの確立 静岡県や静岡市との共催により開催している、市民公開講座、健康フェアに参画し、地域貢献を行うだけでなく、学生を参加させ、地域包括ケアに必要な知識と技能を実際に学習する機会を提供した。</p>